

愛と感動のストーリー、ここに完結！！

商店街応援マガジン

まいど。

2026
FEB.

Vol.24

見えますか。

おやっさん

大人気！！

商店街で紡ぐ、人間物語。

連載
編集長の独り言

おやっさんとタカヒ
～後編～

おやっさんとタカヒ

前回のあらすじ

極寒の札幌で、孤独と空腹に震えていたタカヒは、商店街で定食屋を営むおやっさんに助けられる。店で働くことになったタカヒは、清掃活動や夏祭りに奔走し、街の笑顔を支え続けるおやっさんと商店街の仲間に心を打たれ、生まれて初めて誰かのために生きる喜びを見出していく。

そんな矢先、突如訪れたおやっさんの死。

悲しみに沈むタカヒの胸に蘇ったのは、おやっさんと交わした「みんなの笑顔を守る」という約束。

その遺志を継ぎ、店と商店街を守り抜くことを決意するタカヒだったが……。

登場人物紹介



タカヒ

おやっさんの遺志を継ぎ、店と商店街を守るために奮闘する。

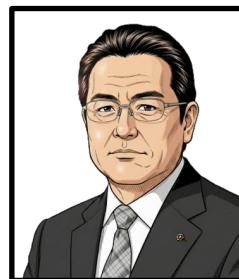


編集長

商店街振興業務を担当している市役所の職員。商店街が大好き。

理事長 島義弘

商店街の理事長。
タカヒの心強い味方。
彼に『商店街の何たるか』を説く存在。

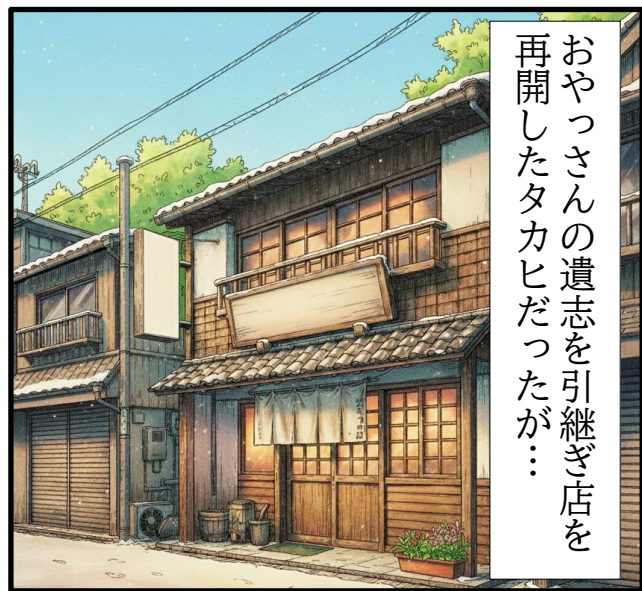


おやっさん

商店街で地域に愛される定食屋を1人で営んでいたが、急死してしまう。タカヒの恩人であり、師匠。



おやっさんの遺志を引継ぎ店を再開したタカヒだったが…



あの、から揚げ
定食まだですか？

すみません、
注文いいですか？



は、はい！
少々お待ちください!!



ダメだ、注文が
全く追いつかない…

ハタハタ

しょんぼり

どうしよう、
おやっさんみたいに
うまくできないや…



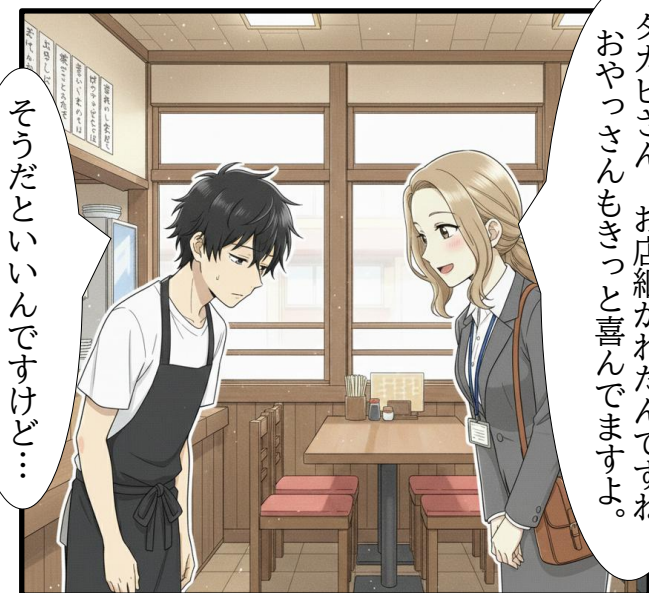
一人で店を回す難しさを
痛感するタカヒ。
そんな時…



ごめんくださーい

ガラガラ

タカヒさん、お店継がれたんですね。
おやっさんもきつと喜んでますよ。

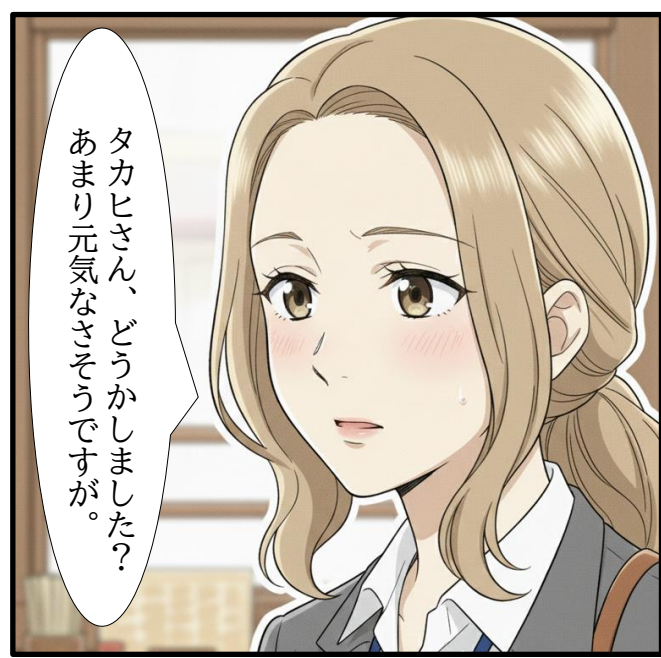


そうだいいんですけど…



実はおやっさんのように店を
うまく回せていなくて…

しかも、店がこんな状況だから
夏祭りの実行メンバーなのに
準備も全く進められてなくて…



タカヒさん、どうかしました？
あまり元気なさそうですが。



ああっ！商店街応援隊派遣
事業のことですか!!



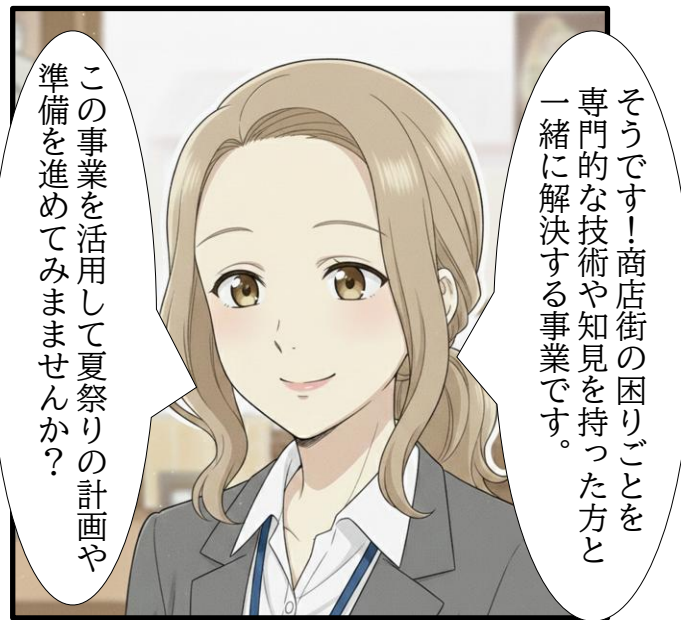
夏祭り…？

なるほど…
タカヒさん、去年の夏祭りに
話したこと覚えてますか？



こちらどうぞ。

あ、ありがとうございます!!

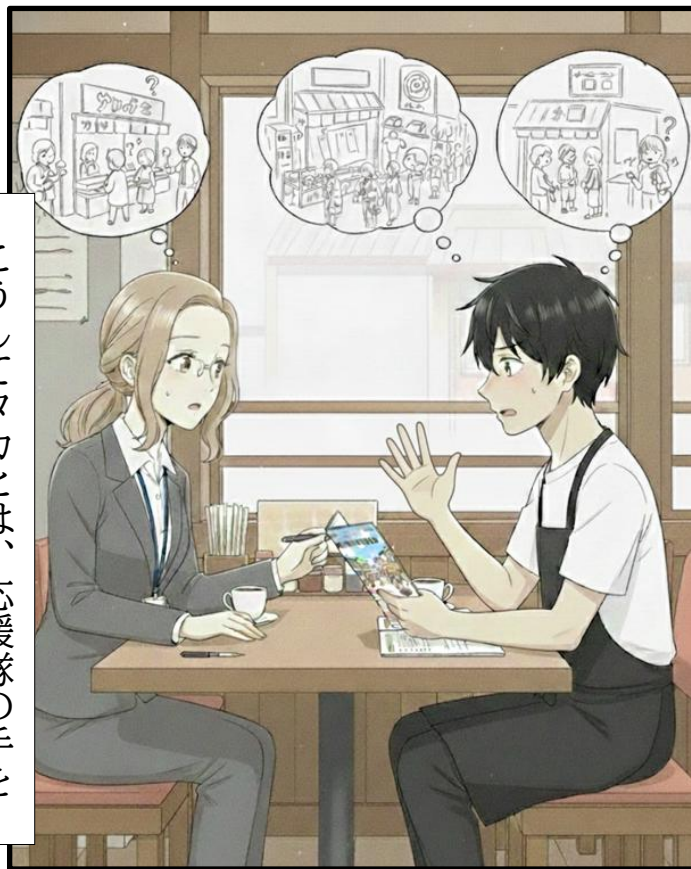


この事業を活用して夏祭りの計画や
準備を進めてみませんか？

そうです！商店街の困りごとを
専門的な技術や知見を持った方と
一緒に解決する事業です。



こうしてタカヒは、応援隊の手を
借りて着々と夏祭りの準備を
進めていった。



そして、夏祭り当日…

ワイワイ

ガヤガヤ

まいどっ

応援隊や組合員の力を借りて開催した夏祭りは過去最高の盛り上がりを見せ、多くの人でにぎわった。



ありがとうございます…

でも…、
これは俺一人だけの力じゃないんです。

応援隊や組合員の方、
たくさんの方に助けてもらいました。

「みんなに祭りを楽しんでもらいたい」
この想いがあったからこそ夏祭りを
成功させることができたのだと思います。

よく気付いてくれた。
「みんなに楽しんでもらいたい」
その気持ちが一番大事なことなんだ。

これからも商店街活動を通じて
仲間づくりに励んでいってほしい。

そうだ、これから一杯どうだ!!

いいですね!
是非、お願いします!

その後、島理事長から
商店街のイロハを
教え込まれたタカヒ。

おやっさんから引き継いだ
店とこの商店街を大切に
守りたいと改めて決意した
夜だった。

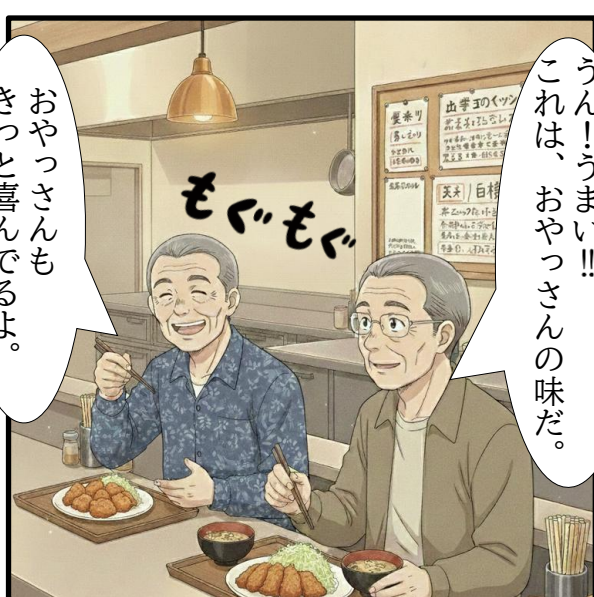


お待ちせしました!!
から揚げ定食と
生姜焼き定食です!!

うん! うまい!!
これは、おやっさんの味だ。

もいもい

おやっさんも
きつと喜んでるよ。



すみません。
枝豆とイカ焼きください。

はい、喜んで!!

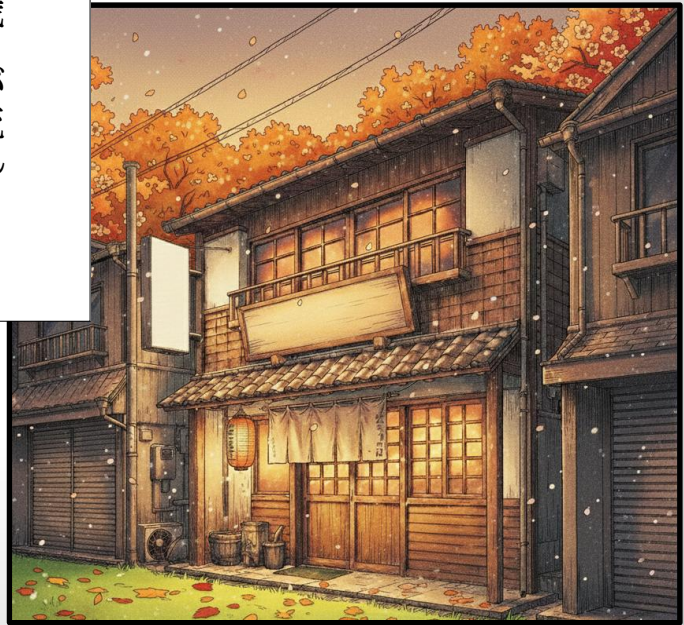


夏まつりをきっかけに、
商店街活動により一層の情熱を
注ぐようになったタカヒ。
そんな彼のひたむきな姿は、着実に
周囲の心を動かしていった。
その温かな支えに後押しされる
ように、店の経営も次第に軌道に
乗り始める。
そして、タカヒはいつからか
商店街や地域にとって欠かせない
存在となっていたのだった…。





そして長い歳月が流れ…



— 30 年後 —

おやっさんの死から30年。
タカヒは全国商店街振興組合連合会
(※1)の理事長に就任した。



※1 商店街振興組合法に基づく、全国の商店街を指導・支援する団体



そうだ！
おやっさんに報告に行かないとな。



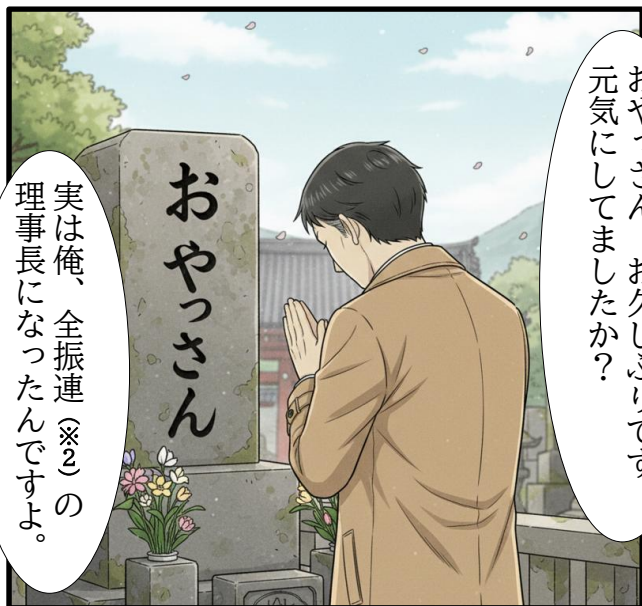
ふーっ
やれやれ、
とりあえずは、ひと段落だ。



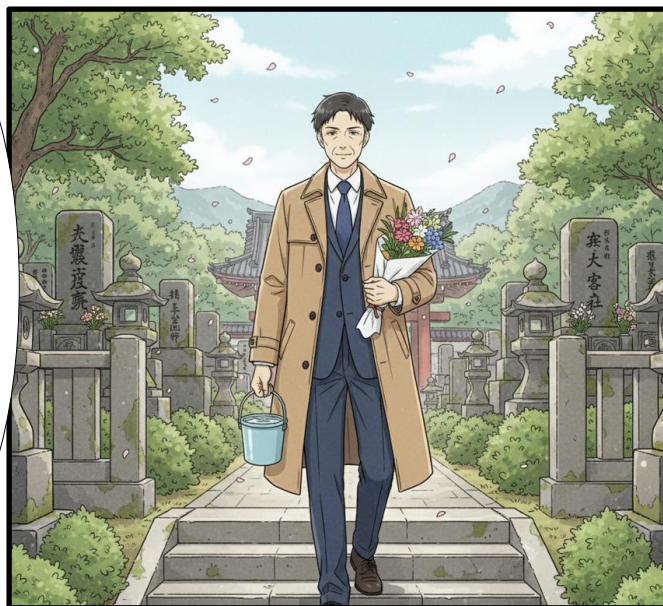
おやっさん。お久しぶりです。
元気になりましたか？

実は俺、全振連(※2)の
理事長になったんですよ。

おやっさん



※2 全国商店街振興組合連合会の略称



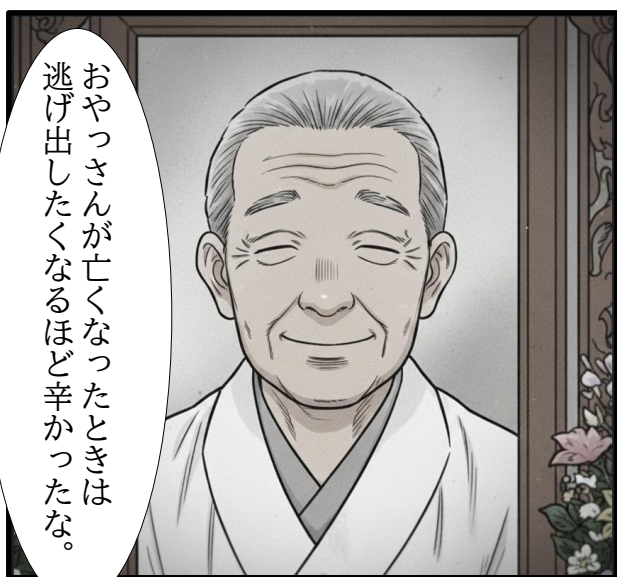


俺を助けてくれた時に
食べさせてくれたから揚げは
ホントにおいしかった。

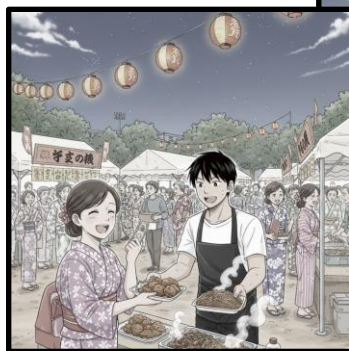
これまでにいろいろなことが
あったけど、おやつさんとの日々が
いつも俺を支えてくれました。



おやつさんとの商店街活動も楽しかった。
特に初めて夏祭りに参加したときの
感動は今でも忘れられません。

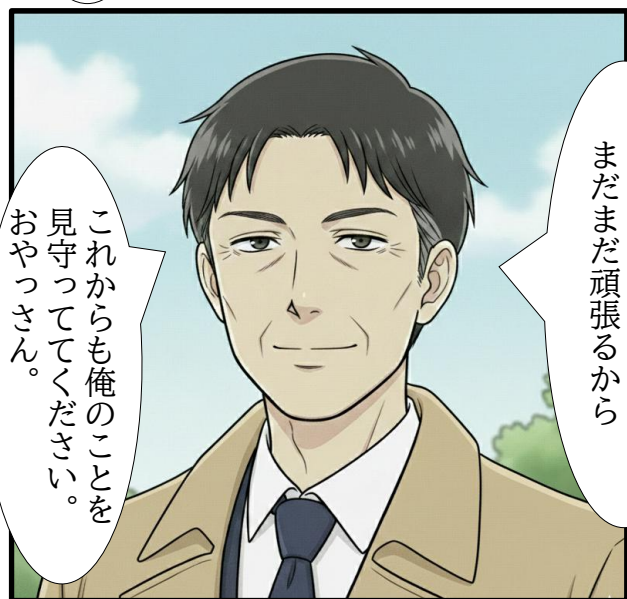


おやつさんが亡くなったときは
逃げ出したくなるほど辛かったな。



でも「みんなの笑顔を守る」
このおやつさんとの約束を支えに
ここまで頑張ってきました。

みんなの笑顔のために
まだまだ頑張るから



これから俺のことを
見守ってください。
おやつさん。



ガッ



いつものように店の仕込み
をしていると…



おやっさんの墓参りを終えて
店に戻ったタカヒ。



おい、君、大丈夫か？

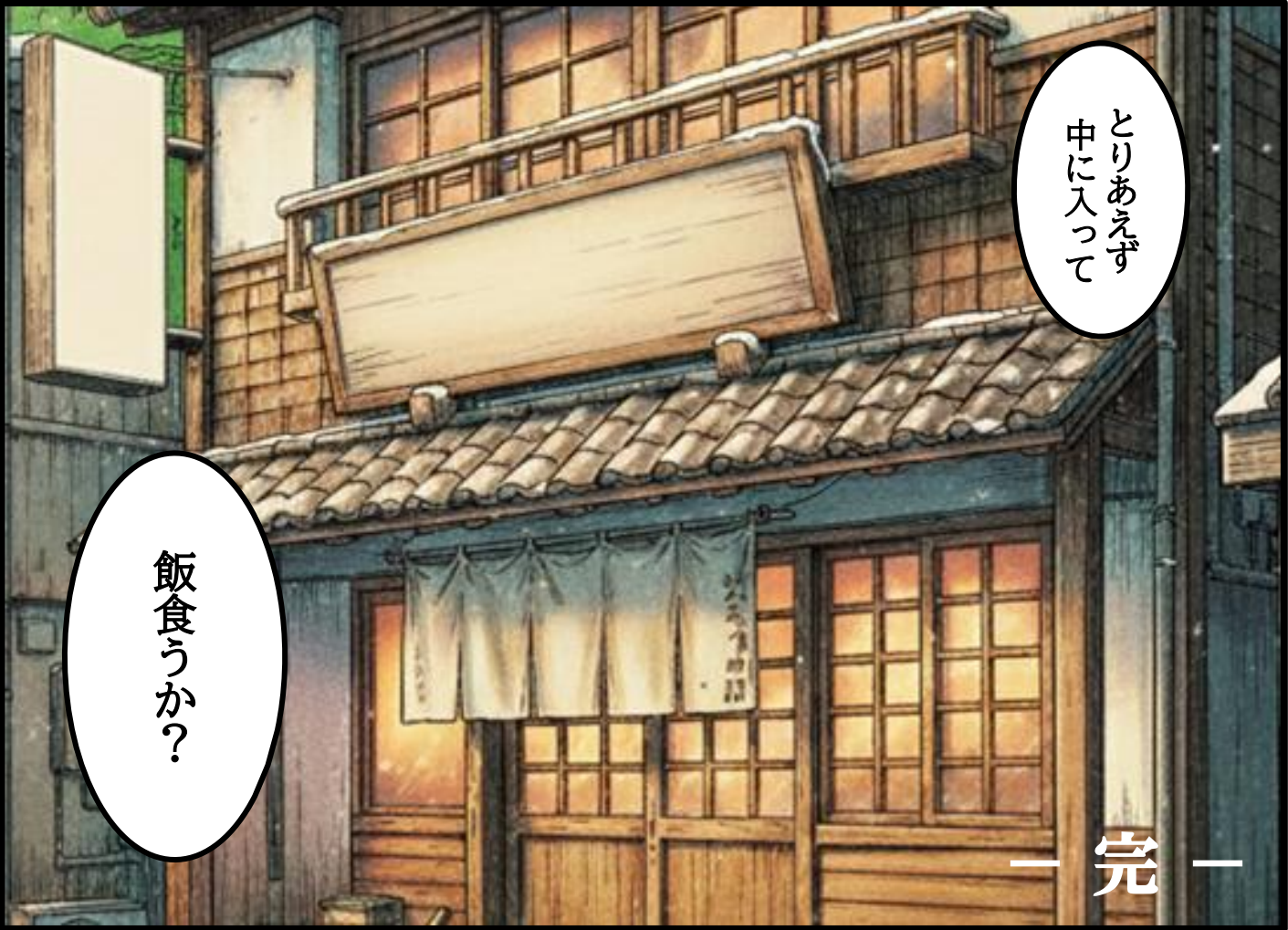


ん？なんだ？

野良猫か？



え、えっと…



とりあえず
中に入っ

飯食うか？

— 完 —

※本マンガのストーリーは完全オリジナルですが、イラストは生成AIに作ってもらいました。

編集長の独り言 #24

2号にわたる連載「おやっさんとタカヒ」、最後までお読みいただきましてありがとうございました。

商店街で育んだ“つながり”や“温かさ”が、立場を超えて、世代を超えて、静かに、けれども確実に広がっていく。そんな商店街の本質的な価値を感じていただければ幸いです。

出版社さん、単行本化のお話、いつでもご連絡ください。お待ちしております！笑



求む！